

TASCAM SS-R250N/SS-CDR250N

CONTROL I/O 端子

RS-232C/TELNET プロトコル仕様書

Ver.1.15

2021 年 11 月

ティアック株式会社

ご注意

ティアック株式会社(以下、弊社といいます)は、本仕様書記載のプロトコルにつきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意されることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。

以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本件プロトコルをご使用になることはできませんので本仕様書をご返却下さい。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1. 本契約は、お客様が本プロトコルのご使用を開始したときから発効します。
2. 弊社は、該当するタスカム製品と互換性を有する装置(ソフトウェアを含む)を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。
3. お客様が本仕様書を手入されたことは、本使用約款に規定された以外に本プロトコルのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本仕様書が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本プロトコルに係る一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。
4. (1) お客様は、本仕様書を複製することはできません。
(2) お客様は、本仕様書を弊社の事前承諾無く、第三者に譲渡することはできません。
(3) 本仕様書は、弊社に帰属する秘密情報が記載されておりますので、お客様は、弊社の事前承諾無く、第三者に開示することはできません。
5. 本仕様書および本プロトコルは、現状あるがままの状態を提供申し上げるものです。弊社は、本仕様書の記載事項や本プロトコルが、お客様の特定の使用目的に適合するか、或いは、誤りがないか、について何等の保証するものではありません。
6. 弊社は、本仕様書の記載内容について、お客様のお問い合わせに対応することはできません。
7. 弊社は、本仕様書および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害(事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など)についても責任を負いません、例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

1. 概要

SS-R250N/SS-CDR250N に装備の RS-232C 端子 または ETHERNET 端子(TELNET) を使用して、コンピュータなどの外部機器より SS-R250N/SS-CDR250N を制御することが可能です。ここでは SS-R250N/SS-CDR250N は被制御機器となります。また、外部より制御を行う機器は制御機器となります。

2. 仕様

RS-232C 端子

電氣的仕様

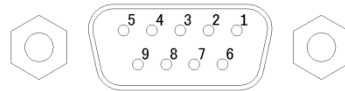
準拠規格	JIS X-5101 (旧 JIS C-6361、EIA RS-232C 相当) (業務用 VTR 等の RS-422A との互換性はありません)
受信器側のインピーダンス	±3~15V の印加電圧で測定して、3KΩ 以上、7KΩ 以下の直流抵抗 総合実行負荷容量は 2500pF 以下
送信器側の開放回路電圧	25V 以下
受信器側の開放回路電圧	2V 以下
信号電圧	受信器側の開放回路電圧が 0V の場合、3K~7KΩ の負荷抵抗に対して、±5V ~ ±15V
信号の識別	論理“1” -3V 以下 論理“0” +3V 以上

通信仕様

回路形態	3線式、半二重
伝送形態	デジタル2進直列伝送
データ信号速度	4800/9600/19200/38400/57600 bit/sec
キャラクタ長	7/8 bit
パリティビット	奇数/偶数/なし
ストップビット	1/2 bit
※データ信号速度、キャラクタ長、パリティビット、ストップビットの設定は、SS-R250N/SS-CDR250N 本体で設定します。	

ピン配列

コネクタ D-sub 9pin メス(インチネジ)

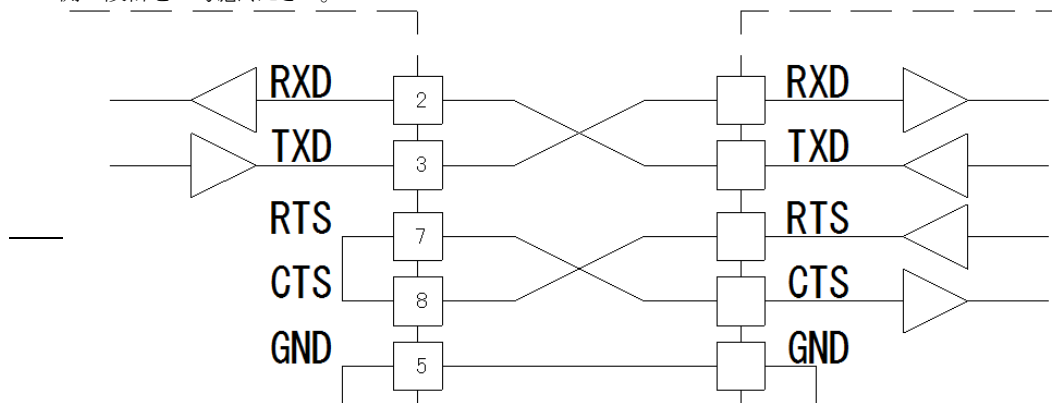


端子のピン配置と入出力信号

ピン番号	In/Out	信号名称	内容
1	-	NC	未使用
2	In	Rx Data	受信データ *1
3	Out	Tx Data	送信データ
4	Out	(Reserved)	予約済み
5	-	GND	グラウンド
6	In	(Reserved)	予約済み
7	In	RTS	Request To Send(送信要求の入力) *2
8	Out	CTS	Clear To Send(受信準備完了の出力) *2
9	-	+12V Power	別売りの専用ポン出しリモートコントロールユニット(RC-SS150)への電源供給(最大供給可能電流 150mA)

*1: Rx Data へは、RS-232C 規格を満足する電圧を加えてください。

*2: RTS/CTS は被制御機器内部にてループバック接続されています。RTS/CTS 制御を行う場合、制御機器側の設計をご考慮ください。



被制御機器(本機)側

制御機器側

3. コマンドフォーマット

コマンドフォーマット概要

コマンドフォーマットを次に示します。

RS-232C 端子

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	Byte 8	...	Byte n
LF	ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	...	CR

コマンドは「ラインフィード(LF)」で始まり、「キャリッジリターン(CR)」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。

LFの次のバイトはマシン ID です。マシン ID については後述します。

コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。

コマンドに続くバイト列はデータを表し、0 バイト以上(データがないコマンドの場合)、最大 98 バイトとなっています。データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0~9 および A~F を使用するコマンドにおける A~F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1: ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合

停止またはレディ状態にあるとき、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。

PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

		ID	Command		
ASCII	LF	0	1	2	CR
HEX	0Ah	30h	31h	32h	0Dh

例 2: ID=0 の被制御機器に 123トラック目のダイレクトサーチを指示する場合

この動作を行うためのコマンドは”DIRECT TRACK SEARCH PRESET [23]”を送信します。

データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。

”DIRECT TRACK SEARCH PRESET”コマンドのトラック番号指定は次のようになります。

Data 1 指定するトラック番号の十の桁

Data 2 指定するトラック番号の一の桁

Data 3 指定するトラック番号の千の桁

Data 4 指定するトラック番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

		ID	Command		Data: 123トラック				
ASCII	LF	0	2	3	2	3	0	1	CR
HEX	0Ah	30h	32h	33h	32h	33h	30h	31h	0Dh

マシン ID

本機は、Machine ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。

Machine ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。

未対応なコマンドを受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

ETHERNET 端子(TELNET)

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	...	Byte n-1	Byte n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	...	CR	LF

コマンドは「ID」で始まり、「キャリッジリターン (CR)」「ラインフィード (LF)」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。

マシン ID(ID)については後述します。

コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。

データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0~9 および A~F を使用するコマンドにおける A~F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1: マシン ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合

停止または再生待機時、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。

PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

	ID	Command				
ASCII	0	1	2	CR	LF	
HEX	30h	31h	32h	0Dh	0Ah	

例 2: マシン ID=0 の被制御機器に 123トラック目のダイレクトサーチを指示する場合

この動作を行うためのコマンドは”DIRECT TRACK SEARCH PRESET [23]”を送信します。

データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。

”DIRECT TRACK SEARCH PRESET”コマンドのトラック番号指定は次のようになります。

Data 1 指定するトラック番号の十の桁

Data 2 指定するトラック番号の一の桁

Data 3 指定するトラック番号の千の桁

Data 4 指定するトラック番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

	ID	Command			Data:123トラック				
ASCII	0	2	3	2	3	0	1	CR	LF
HEX	30h	32h	33h	32h	33h	30h	31h	0Dh	0Ah

マシン ID(ID)

本機は、マシン ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。

マシン ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。

未対応なコマンドを受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

コマンド一覧

Control/Preset/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver
0F	INFORMATION REQUEST	8F	INFORMATION RETURN	
10	STOP			
12	PLAY			
13	RECORD			
14	PASUE			
15	JOG			
16	SHUTTLE			
17	FLASH LOAD	97	FLASH LOAD ACKNOWLEDGE	
18	EJECT			
1A	TRACK SKIP			
1D	CALL			
20	AUTO CUE LEVEL PRESET	A0	AUTO CUE LEVEL RETURN	
21	AUTO TRACK LEVEL PRESET	A1	AUTO TRACK LEVEL RETURN	
23	DIRECT TRACK SEARCH PRESET			
25	PITCH DATA PRESET	A5	PITCH DATA RETURN	
26	AUTO TRACK TIME PRESET	A6	AUTO TRACK TIME RETURN	Ver1.10
27	CLOCK DATA PRESET	A7	CLOCK DATA RETURN	
28	SYNC REC LEVEL PRESET	A8	SYNC REC LEVEL RETURN	
29	TEXT PRESET			Ver1.10
2C	TIME SEARCH PRESET			
2D	KEY CONTROL DATA PRESET	AD	KEY CONTROL DATA RETURN	
30	AUTO CUE SELECT	B0	AUTO CUE SELECT RETURN	
31	AUTO TRACK SELECT	B1	AUTO TRACK RETURN	
32	EOM TRACK TIME SELECT	B2	EOM TRACK TIME RETURN	
33	EOM MEDIA TIME SELECT	B3	EOM MEDIA TIME RETURN	
35	PITCH CONTROL SELECT	B5	PITCH CONTROL SELECT RETURN	
36	AUTO READY SELECT	B6	AUTO READY SELECT RETURN	
37	REPEAT SELECT	B7	REPEAT SELECT RETURN	
38	SYNC REC SELECT	B8	SYNC REC SELECT RETURN	
3A	INCR PLAY SELECT	BA	INCR PLAY SELECT RETURN	
3D	KEY CONTROL SELECT	BD	KEY CONTROL SELECT RETURN	
4C	REMOTE/LOCAL SELECT	CC	REMOTE/LOCAL SELECT RETURN	
4D	PLAY MODE SELECT			
4E	PLAY MODE SENSE	CE	PLAY MODE RETURN	
50	MECHA STATUS SENSE	D0	MECHA STATUS RETURN	
51	SPECIFIED DEVICE STATUS SENSE	D1	SPECIFIED DEVICE STATUS RETURN	Ver2.00
55	TRACK No. STATUS SENSE	D5	TRACK No. STATUS RETURN	
56	MEDIA STATUS SENSE	D6	MEDIA STATUS RETURN	
57	CURRENT TRACK INFORMATION SENSE	D7	CURRENT TRACK INFORMATION RETURN	
58	CURRENT TRACK TIME SENSE	D8	CURRENT TRACK TIME RETURN	
59	NAME SENSE	D9	NAME RETURN	
5D	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE	DD	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN	
5E	PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE	DE	PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN	
5F	KEYBOARD TYPE SENSE	DF	KEYBOARD TYPE RETURN	
		F0	ERROR SENSE REQUEST	
		F1	CAUTION SENSE REQUEST	
		F2	ILLEGAL STATUS	
		F4	POWER ON STATUS	
		F6	CHANGE STATUS	
75	POWER CONTROL	F5	POWER CONTROL RETURN	Ver1.30

78	ERROR SENSE	F8	ERROR SENSE RETURN	
79	CAUTION SENSE	F9	CAUTION SENSE RETURN	
7F	VENDER COMMAND	FF	VENDER COMMAND RETURN	

注) “Adopted F/W Ver.”に対応バージョンが未記入のコマンドは、Ver.1.00以降のバージョンにて対応しています。

ベンダコマンド一覧

ベンダコマンド (Command 7F / FF) の一覧は次のとおりです。

コマンドコードは、Command (2バイト)、Category Code (2バイト)、Sub Command (2バイト) を組み合わせたものを記載しています。詳細については、37 ページ以降をご覧ください。

Control/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver
7F01	DEVICE SELECT	FF01	DEVICE SELECT RETURN	
7F02	DIVIDE			
7F03	DELETE			
7F0701	TIME SKIP PRESET			Ver1.30
7F0702	TIME SKIP SENSE	FF0702	TIME SKIP RETURN	Ver1.30
7F074F	PLAY AREA SELECT	FF07CF	PLAY AREA SELECT RETURN	
7F0823	AUTO TRACK SIZE PRESET	FF08A3	AUTO TRACK SIZE RETURN	
7F082A	USER WORD PRESET	FF08AA	USER WORD PRESET RETURN	Ver1.42
7F085A	USER WORD SENSE	FF08DA	USER WORD SENSE RETURN	Ver1.42
7F0860	FILE NAME SELECT	FF08E0	FILE NAME SELECT RETURN	Ver1.42
7F1010	CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME SENSE	FF1090	CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME RETURN	Ver2.10
7F1044	MEDIA FORMAT	FF10C4	MEDIA FORMAT ACK	Ver2.00
7F1210	INPUT SELECT	FF1290	INPUT SELECT RETURN	Ver1.10
7F4200	FILE RENAME	FF4280	FILE RENAME ACK	Ver1.20
7F4A23	CURRENT FOLDER SELECT			Ver1.20
7F4A40	CREATE FOLDER	FF4AC0	CREATE FOLDER ACK	Ver1.20
7F4A42	RENAME FOLDER	FF4AC2	RENAME FOLDER ACK	Ver1.20
7F4A55	CURRENT FOLDER No. SENSE	FF4AD5	CURRENT FOLDER No. RETURN	Ver1.20
7F4A56	SEARCH FOLDER No.	FF4AD6	SEARCH FOLDER No. RETURN	Ver1.20
7F4A59	FOLDER NAME SENSE	FF4AD9	FOLDER NAME RETURN	Ver1.20
7F4A5A	FILE NAME SENSE	FF4ADA	FILE NAME RETURN	Ver1.20
7F4A5D	FOLDER COUNT SENSE	FF4ADD	FOLDER COUNT RETURN	Ver1.20
7F4A5E	FILE COUNT SENSE	FF4ADE	FILE COUNT RETURN	Ver1.20

注) “Adopted F/W Ver.” に対応バージョンが未記入のコマンドは、Ver.1.00 以降のバージョンにて対応しています。

コマンド・シーケンス

制御機器が送信するトランスポート・コントロールやデータのプリセット・コマンドに対して、ほとんどの場合、被制御機器より ACK は送信しません。

被制御機器に設定されているデータ値を返信するよう要求するデータ・センス・コマンドに対しては、被制御機器はリターン・コマンドを返信します。

また被制御機器が停止状態から再生状態に変わるなど、状態変化が生じたとき、およびエラー等が発生したときには、被制御機器はそれらを通知するコマンドを制御機器に対して送信します。

以下に、コマンド・シーケンスの例を述べます。

なお、コマンドとコマンドの間は 20ms 以上あけてください。

例 1: 被制御機器のトランスポート・コントロールを行う

ここでは再生を行う例を述べます。

被制御機器は PLAY コマンドを受信して再生状態になると CHANGED STATUS コマンドを送信します。

PLAY コマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
PLAY	->	停止状態
	<- CHANGED STATUS	再生状態になると送信

例 2: データをプリセットする

ここでは AUTO CUE LEVEL のプリセット例を述べます。

被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset)コマンドを受信すると AUTO CUE LEVEL を設定します。

このコマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
AUTO CUE LEVEL PRESET (Preset -54dB)	->	AUTO CUE LEVEL を-54dB に設定
	>	

例 3: 設定されているデータを取得する

ここでは設定されている AUTO CUE LEVEL を取得する例を述べます。

被制御機器は AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense)コマンドを受信すると、設定されている AUTO CUE LEVEL を返信します。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
AUTO CUE LEVEL PRESET (Sense)	->	
	<- AUTO CUE LEVEL RETURN	

例 4: 被制御機器のステータスを確認して次の動作を行う

被制御機器は動作状態が変わると CHANGED STATUS を送信します。CHANGED STATUS をトリガーとして MECHA STATUS SENSE を送信すると、新たな動作状態を確認することができます。

ここでは被制御機器の録音待機状態を確認してから、録音を開始する場合を述べます。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
RECORD (Record Pause)	->	停止状態
	<- CHANGED STATUS	録音待機状態になると送信
MECHA STATUS SENSE	->	
	<- MECHA STATUS RETURN	録音待機状態を返信
RECORD (Record)	->	
	<- CHANGES STATUS	録音状態になると送信

コマンド詳細

ここに記載されているコマンドやデータ、マシン ID はキャラクタ (ASCII) です。

Command は 2 バイトのキャラクタ、**Machine ID** は 1 バイトのキャラクタ、**Data** は 1 バイトずつのキャラクタです。本機で扱うことが可能なトラック番号およびグループ番号の仕様は次のとおりです。ただし、メディアに存在しない番号を指定された場合は無効なコマンドとみなします。

トラック番号 (MP3/WAV MEDIA) 最大 999
トラック番号 (オーディオ CD) 最大 99

INFORMATION REQUEST

被制御機器のソフトウェア・バージョン等の情報を返信するよう要求します。

Command 0F
Machine ID 0
Data なし
Return INFORMATION RETURN [8F]

STOP

被制御機器を停止モードにします。また、インプットモニター・モードを解除します。

Command 10
Machine ID 0
Data なし
Return なし

PLAY

被制御機器を再生モードにします。また、録音待機モード時に、録音モードにします。

Command 12
Machine ID 0
Data なし
Return なし

RECORD

被制御機器を録音待機モードにします。また録音中にトラックを付けたり、No Media 状態時にインプットモニター・モードにします。

Command 13
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Record	録音を開始します。
0	1	Record Pause	録音待機状態モードします。
0	2	Track Mark	録音中にトラックを付けます。
1	0	Input Monitor	No Media 状態にインプットモニター・モードにします。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ 録音を開始するには Record Pause 後、PLAY コマンドを送信します。

Return なし

PAUSE

被制御機器を再生待機モードまたは録音待機モードにします。

Command 14
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	1	Pause On	再生待機または録音待機モードにします。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

JOG

被制御機器をジョグ・モードにします。

Command 15

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Jog OFF	ジョグ・モードを OFF にします。
0	1	Jog ON	ジョグ・モードを ON にします。
1	0	Jog Forward	Jog で順方向に移動します。
1	1	Jog Reverse	Jog で逆方向に移動します。

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

SHUTTLE

被制御機器をシャトル・モードにします。

STOP、PLAY、PAUSE 等のコマンドを受信するまでシャトル・モードを維持します。

Command 16

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Shuttle Forward	順方向シャトル・モードにします。
0	1	Shuttle Reverse	逆方向シャトル・モードにします。

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

FLASH LOAD

被制御機器を Flash Load モードにします。

Command 17

Machine ID 0

Data なし

Return FLASH LOAD ACKNOWLEDGE [97]

EJECT

被制御機器の CD メディアを排出します。

(SS-R250N で本コマンドを受信した場合、ILLEGAL [F2]を送出します。)

被制御機器の選択デバイスが CD 以外の場合、コマンドは無視されます。

Command 18

Machine ID 0

Data なし

Return なし

SKIP

被制御機器をトラック・スキップさせます。
スキップ後は、スキップ開始時のモードを維持します。

Command 1A
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Track Skip Next	次のトラックにスキップします。
0	1	Track Skip Previous	現在位置がトラックの先頭にあるときは、一つ前のトラックの先頭にスキップします。現在位置がトラックの先頭でないときは、現在のトラックの先頭にスキップします。
2	0	Mark Skip Next	次のマークにスキップします。
2	1	Mark Skip Previous	前のマークにスキップします。
3	0	Time Skip Next	再生待機中または再生中、現在位置の後方にタイムスキップ機能で指定した時間分スキップします。
3	1	Time Skip Previous	再生待機中または再生中、現在位置の前方にタイムスキップ機能で指定した時間分スキップします。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return なし

CALL

被制御機器をコールポイントにロケートさせ、再生待機モードにします。

Command 1D
Machine ID 0
Data なし
Return なし

AUTO CUE LEVEL PRESET

被制御機器の Auto Cue Level を設定します。

Sense [FF] を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Auto Cue Mode の設定はコマンド "AUTO CUE SELECT [30]" で行います。

Command 20
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	
F	F	Sense	プリセットされているレベルを返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return AUTO CUE LEVEL RETURN [A0]

AUTO TRACK LEVEL PRESET

被制御機器の Auto Track Level の設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Auto Track Mode の設定はコマンド“AUTO TRACK SELECT [31]”で行います。

Command 21

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	
F	F	Sense	プリセットされているレベルを返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO TRACK LEVEL RETURN [A1]

DIRECT TRACK SEARCH PRESET

トラック番号を指定してサーチします。

停止モードおよび再生モード時に本コマンドを受信すると、サーチ後再生モードになります。それ以外のモード時は、サーチ後に、サーチ開始時のモードを維持します。

Command 23

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	トラック番号の十の桁	トラック番号 例) 2301:トラック 123
Data 2	トラック番号の一の桁	
Data 3	トラック番号の千の桁	
Data 4	トラック番号の百の桁	

- ・ メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PITCH CONTROL DATA PRESET

被制御機器の再生ピッチを%単位で設定します。

設定範囲は±16.0%です。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Sense [FF]指定時は、データは 2 バイトです。

ピッチコントロール・モードの設定はコマンド”PITCH CONTROL SELECT [35]”で行います。

Command 25

Machine ID 0

Data 4 bytes または 2 bytes

Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	内容	備考
N2	N3	0 1	N1	Preset %	プラス値 マイナス値 N1:十の桁、N2:一の桁、N3:小数点第一位の桁 例) 2311:-12.3%
F	F	...		Sense	プリセットされているピッチを返信するよう要求します。

・ 上記以外の Data または動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PITCH DATA RETURN [A5]

AUTO TRACK TIME PRESET

被制御機器の Auto Track Time の設定を行います。

設定範囲は 1～10 分(1 分間隔), 15 分, 30 分, 1 時間, 2 時間, 6 時間, 8 時間, 12 時間, 24 時間です。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Auto Track Mode の設定はコマンド”AUTO TRACK SELECT [31]”で行います。

Command 26

Machine ID 0

Data 4 bytes または 2 bytes

Data 1	Data 2	Data3	Data4	内容	備考
N1	N2	N3	N4	時間、分	N1:時間の十の桁、N2:時間の一の桁、N3:分の十の桁、N4:分の一の桁
F	F	-	-	Sense	プリセットされている時間を返信するよう要求します。

・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return AUTO TRACK TIME RETURN [A6]

CLOCK DATA PRESET

被制御機器に、日付、時間情報を設定します。

Command 27

Machine ID 0

Data 10 byte または 2byte

Data 1	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	例) 0802231234:2008 年 2 月 23 日 12 時 34 分 Data 1 Data 2 とともに F のとき Sense となり セットされている Clock Data を返信するよう要求します。 例) FF
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	

・ 存在しない日付や時間を設定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CLOCK DATA PRESET RETURN [A7]

SYNC REC LEVEL PRESET

被制御機器の Sync Rec Level を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

SYNC REC MODE の設定はコマンド"SYNC REC SELECT [38]"で行います。

Command 28

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	
F	F	Sense	プリセットされているレベルを返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SYNC REC LEVEL RETURN [A8]

TEXT PRESET

被制御機器に、CD-TEXT タイトルを 80 文字以内の半角英数字で設定します。

設定したタイトルを取得する時はコマンド"TITLE SENSE [59]"を送出して下さい。

Command 29

Machine ID 0

Data 4 bytes～84 Bytes

	内容	備考
Data 1	指定番号の十の桁	0000 ディスク・タイトル指定 0001 - 0099トラック・タイトル指定
Data 2	指定番号の一の桁	
Data 3	指定番号の千の桁	
Data 4	指定番号の百の桁	
Data 5 - Data 84	タイトル	半角英数字

- ・ ディスクに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ タイトルは 0 バイト以上 80 バイト以下です。指定するタイトルは CR の直前の文字までが有効となります。

Return なし

TIME SEARCH PRESET

トラック番号および時刻を指定してサーチします。

停止モードおよび再生モード時に本コマンドを受信すると、サーチ後再生モードになります。それ以外のモード時は、サーチ後に、サーチ開始時のモードを維持します。

Command 2C

Machine ID 0

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	トラック番号の十の桁	
Data 2	トラック番号の一の桁	
Data 3	トラック番号の千の桁	
Data 4	トラック番号の百の桁	
Data 5	分の十の桁	
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の千の桁	
Data 8	分の百の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

- ・メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は **ILLEGAL [F2]** を送出します。
- ・動作仕様範囲外の **Data** を受信した場合、本機は **ILLEGAL [F2]** を送出します。

Return なし

KEY CONTROL DATA PRESET

被制御機器の再生キーを設定します。

設定範囲は±6半音です。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

KEY CONTROL MODE の設定はコマンド"KEY CONTROL SELECT [3D]"で行います。

Command 2D

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0		Key Up	
1		Key Down	
	0 - 6	Key Change	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・動作仕様範囲外の **Data** を受信した場合、本機は **ILLEGAL [F2]** を送出します。

Return KEY CONTROL DATA RETURN [AD]

AUTO CUE SELECT

被制御機器のオートキュー・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

AUTO CUE LEVEL の設定はコマンド”AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”で行います。

Command 30

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO CUE SELECT RETURN [B0]

AUTO TRACK SELECT

被制御機器のオートトラック・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 31

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Track Off	
0	1	Auto Track On (Level)	設定されている AUTO TRACK LEVEL によるオートトラックを行います。
0	2	Auto Track On (Digital Direct)	デジタルオーディオ入力信号内のトラック情報によりオートトラックを行います。
0	3	Auto Track On (Time)	設定されている AUTO TRACK TIME によるオートトラックを行います。
0	4	Auto Track On (Size)	設定されている AUTO TRACK SIZE によるオートトラックを行います。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO TRACK RETURN [B1]

EOM TRACK TIME PRESET

トラックの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を秒単位で設定します。

設定範囲は 1～99 秒または OFF です。

データ[FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 32

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	EOM Track Off	
N1	N2	秒数	N1:秒の十の桁、N2:秒の一の桁(N1:N2=A:0のときは 0 秒)
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return EOM TRACK TIME RETURN [B2]

EOM MEDIA TIME PRESET

メディアの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を秒単位で設定します。

設定範囲は 1～99 秒または OFF です。

データ[FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 33

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	EOM Media Off	
N1	N2	秒数	N1:秒の十の桁、N2:秒の一の桁
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return EOM MEDIA TIME RETURN [B3]

PITCH CONTROL SELECT

被制御機器のピッチコントロール・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

ピッチコントロールの値はコマンド”PITCH CONTROL DATA PRESET [25]”で設定します。

Command 35

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Pitch Control Off	
0	1	Pitch Control On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PITCH CONTROL SELECT RETURN [B5]

AUTO READY SELECT

被制御機器のオートレディ・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 36

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO READY SELECT RETURN [B6]

REPEAT SELECT

被制御機器のリピート・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 37

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REPEAT SELECT RETURN [B7]

SYNC REC SELECT

被制御機器のシンクレック・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

シンクレック・レベルはコマンド”SYNC REC LEVEL PRESET [28]”で設定します。

Command 38

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Sync Rec Off	
0	1	Sync Rec On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SYNC REC SELECT RETURN [B8]

INCR PLAY SELECT

被制御機器のインクリメンタルプレイ・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 3A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return INCR PLAY SELECT RETURN [BA]

KEY CONTROL SELECT

被制御機器のキーコントロール・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

キーコントロールの値はコマンド”KEY CONTROL DATA PRESET [2D]”で設定します。

Command 3D
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Key Control Off	
0	1	Key Control On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return KEY CONTROL SELECT RETURN [BD]

REMOTE/LOCAL SELECT

被制御機器の本体パネルでのキー操作を有効または無効にします。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 4C
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	RS-232C、PARALLEL、NETWORK、REMOTE 端子に接続されたリモコン、及び USB キーボードによるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return REMOTE/LOCAL SELECT RETURN [CC]

PLAY MODE SELECT

被制御機器の再生モードを設定します。

Command 4D
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Continue	プレイエリア全曲の再生モード
0	1	Single	シングル再生モード
0	4	Program	プログラム再生モード
0	6	Random	ランダム再生モード

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return なし

PLAY MODE SENSE

被制御機器の再生モードの状態情報を返信するよう要求します。

Command 4E
Machine ID 0
Data なし
Return PLAY MODE RETURN [CE]

MECHA STATUS SENSE

被制御機器のメカニズム関連の状態情報を返信するよう要求します。

Command 50
 Machine ID 0
 Data なし
 Return MECHA STATUS RETURN [D0]

SPECIFIED DEVICE STATUS SENSE

指定したデバイスの状態情報を返信するよう要求します。

Command 51
 Machine ID 0
 Data 2 byte

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	SD1	SD1 の状態を要求します。
0	1	SD2	SD2 の状態を要求します。
1	0	USB	USB の状態を要求します。
1	1	CD	CD の状態を要求します。 被接続機器が SS-R250N の場合、ILLEGAL[F2]を送出します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ カレントデバイスが動作中の場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SPECIFIED DEVICE STATUS RETURN [D1]

TRACK No. SENSE

現在、位置しているトラック番号を返信するよう要求します。

Command 55
 Machine ID 0
 Data なし
 Return TRACK No. STATUS RETURN [D5]

MEDIA STATUS SENSE

メディアの有無やメディアの種類等の情報を返信するよう要求します。

Command 56
 Machine ID 0
 Data なし
 Return MEDIA STATUS RETURN [D6]

CURRENT TRACK INFORMATION SENSE

現在、位置しているトラックの情報を返信するよう要求します。

Command 57
 Machine ID 0
 Data なし
 Return CURRENT TRACK INFORMATION RETURN [D7]

CURRENT TRACK TIME SENSE

現在、位置しているトラックの時間情報を、指定されたかたちで返信するよう要求します。

Command 58

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Elapsed Time	トラックの経過時間
0	1	Remain Time	トラックの残量時間
0	2	Total Elapsed Time	メディアの経過時間
0	3	Total Remain Time	メディアの残量時間

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return CURRENT TRACK TIME RETURN [D8]

NAME SENSE

指定したトラックの名前を返信するよう要求します。

Command 59

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	内容	備考
Data 1	指定番号の十の桁	0000 ディスク・タイトル指定 (CD-TEXT のみ) 指定 0001 - 0999 トラック・ネーム (タイトル) 指定
Data 2	指定番号の一の桁	
Data 3	指定番号の千の桁	
Data 4	指定番号の百の桁	

- ・メディアに存在しないトラック番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。
- ・指定トラック番号の名前に ASCII 以外の文字が登録されている場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return NAME RETURN [D9]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE

メディアの総トラック数および合計時間を返信するよう要求します。

Command 5D

Machine ID 0

Data なし

Return TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN [DD]

PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE

プログラム再生の総トラック数および合計時間を返信するよう要求します。

Command 5E

Machine ID 0

Data なし

Return PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN [DE]

KEYBOARD TYPE SENSE

被制御機器に接続されている USB キーボードの種類を返信するよう要求します。

Command 5F

Machine ID 0

Data なし

Return KEYBOARD TYPE RETURN [DF]

POWER CONTROL

被制御機器の電源を ON/OFF(STANDBY 状態)します。OFF から ON する場合には被制御機器の設定で REMOTE POWER CONTROL が ON になっている必要があります。

Command 75
Machine ID 0
Data 2 byte

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Power On	STANDBY 状態から起動します。
1	1	Power Off	STANDBY 状態に移行します。
8	0	Reset	再起動します。

・ 停止状態でない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return POWER CONTROL RETURN [F5]

ERROR SENSE

被制御機器のエラー情報を返信するよう要求します。

被制御機器より”ERROR SENSE REQUEST [F0]”が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

Command 78
Machine ID 0
Data なし
Return ERROR SENSE RETURN [F8]

CAUTION SENSE

被接続機器の警告情報を返信するよう要求します。

被制御機器より”CAUTION SENSE REQUEST [F1]”が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

Command 79
Machine ID 0
Data なし
Return CAUTION SENSE RETURN [F9]

VENDER COMMAND

本機固有の機能を制御するコマンドです。38 ページからの「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

Command 7F
Machine ID 0
Return VENDER COMMAND RETURN [FF]

INFORMATION RETURN

コマンド”INFORMATION REQUEST [0F]”に対する返信コマンドです。

被制御機器のソフトウェア・バージョンを返信します。

Command 8F
Machine ID 0
Data 4 bytes

Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 1 – Data 4 のデータ例
	ソフトウェア・バージョンの十の桁			0100 Version 1.00
	ソフトウェア・バージョンの一の桁			
	ソフトウェア・バージョンの小数点第一位の桁			
	ソフトウェア・バージョンの小数点第二位の桁			

Request INFORMATION REQUEST [0F]

FLASH LOAD ACKNOWLEDGE

コマンド”FLASH LOAD [17]”に対する返信コマンドです。
データ読み込みが正常に終了した場合に返信します。

Command 97
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset FLASH LOAD [17]

AUTO CUE LEVEL RETURN

コマンド”AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”に対する返信コマンドです。
設定されているオートキュー・レベルを返信します。

Command A0
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	-24dB	
0	1	-30dB	
0	2	-36dB	
0	3	-42dB	
0	4	-48dB	
0	5	-54dB	
0	6	-60dB	
0	7	-66dB	
0	8	-72dB	

Request/Preset AUTO CUE LEVEL PRESET [20]

AUTO TRACK LEVEL RETURN

コマンド”AUTO TRACK LEVEL PRESET [21]”に対する返信コマンドです。
設定されているオートトラック・レベルを返信します。

Command A1
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	-24dB	
0	1	-30dB	
0	2	-36dB	
0	3	-42dB	
0	4	-48dB	
0	5	-54dB	
0	6	-60dB	
0	7	-66dB	
0	8	-72dB	

Request/Preset AUTO TRACK LEVEL PRESET [21]

PITCH CONTROL DATA RETURN

コマンド”PITCH CONTROL DATA PRESET [25]”に対する返信コマンドです。

設定されているピッチコントロール値を返信します。

Command A5

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	内容	備考
N2	N3	0 1	N1	Preset %	プラス値 マイナス値 N1: 十の桁、N2: 一の桁、N3: 小数点第一位の桁 例) 2311:-12.3%

Request/Preset PITCH CONTROL DATA PRESET [25]

AUTO TRACK TIME RETURN

コマンド”AUTO TRACK TIME PRESET [26]”に対する返信コマンドです。

設定されているオートトラック・タイムを返信します。

Command A6

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	時間の十の桁	
Data 2	時間の一の桁	
Data 3	分の十の桁	
Data 4	分の一の桁	

Request/Preset AUTO TRACK TIME PRESET [26]

CLOCK DATA RETURN

コマンド”CLOCK DATA PRESET [27]”に対する返信コマンドです。

設定されている日付・時計値を返信します。

Command A7

Machine ID 0

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	
Data 11	秒の十の桁	
Data 12	秒の一の桁	

Request/Preset CLOCK DATA PRESET [27]

SYNC REC LEVEL RETURN

コマンド”SYNC REC LEVEL PRESET [28]”に対する返信コマンドです。

設定されているシンクレベル・レベルを返信します。

Command A8

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	

Request/Preset SYNC REC LEVEL PRESET [28]

KEY CONTROL DATA RETURN

コマンド”KEY CONTROL DATA PRESET [2D]”に対する返信コマンドです。

設定されているキーコントロール値を返信します。

Command AD

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0		Key Up	
1		Key Down	
	0 - 6	Key Change	半音単位

Request/Preset KEY CONTROL DATA PRESET [2D]

AUTO CUE SELECT RETURN

コマンド”AUTO CUE SELECT [30]”に対する返信コマンドです。

オートキューのオン/オフ状態を返信します。

Command B0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	

Request/Preset AUTO CUE SELECT [30]

AUTO TRACK SELECT RETURN

コマンド”AUTO TRACK SELECT [31]”に対する返信コマンドです。
オートトラックのオン/オフ状態を返信します。

Command B1
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Track Off	
0	1	Auto Track On (Level)	設定されている AUTO TRACK LEVEL によるオートトラックを行います。
0	2	Auto Track On (Digital Direct)	デジタルオーディオ入力信号内のトラック情報によりオートトラックを行います。
0	3	Auto Track On (Time)	設定されている AUTO TRACK TIME によるオートトラックを行います。
0	4	Auto Track On (Size)	設定されている AUTO TRACK SIZE によるオートトラックを行います。

Request/Preset AUTO TRACK SELECT [31]

EOM TRACK TIME RETURN

コマンド”EOM TRACK TIME PRESET [32]”に対する返信コマンドです。
トラックの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を返信します。

Command B2
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	EOM Track Off	
A	0	0s	
N1	N2	秒数	N1: 秒の十の桁、N2: 秒の一の桁

Request/Preset EOM TRACK TIME PRESET [32]

EOM MEDIA TIME RETURN

コマンド”EOM MEDIA TIME PRESET [33]”に対する返信コマンドです。
メディアの終了を予告表示する EOM(End Of Message)機能の、予告表示を行う時間を返信します。

Command B3
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	EOM Media Off	
N1	N2	秒数	N1: 秒の十の桁、N2: 秒の一の桁

Request/Preset EOM MEDIA TIME PRESET [33]

PITCH CONTROL SELECT RETURN

コマンド”PITCH CONTROL SELECT [35]”に対する返信コマンドです。
ピッチコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command B5
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Pitch Control Off	
0	1	Pitch Control On	

Request/Preset PITCH CONTROL SELECT [35]

AUTO READY SELECT RETURN

コマンド”AUTO READY SELECT [36]”に対する返信コマンドです。
オートレディのオン/オフ状態を返信します。

Command B6
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	

Request/Preset AUTO READY SELECT [36]

REPEAT SELECT RETURN

コマンド”REPEAT SELECT [37]”に対する返信コマンドです。
リピート・モードのオン/オフ状態を返信します。

Command B7
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	

Request/Preset REPEAT SELECT [37]

SYNC REC SELECT RETURN

コマンド”SYNC REC SELECT [38]”に対する返信コマンドです。
シンクレックのオン/オフ状態を返信します。

Command B8
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Sync Rec Off	
0	1	Sync Rec On	

Request/Preset SYNC REC SELECT [38]

INCR PLAY SELECT RETURN

コマンド”INCR PLAYSYNC SELECT [3A]”に対する返信コマンドです。
インクリメンタルプレイのオン/オフ状態を返信します。

Command BA
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	

Request/Preset INCR PLAY SELECT [3A]

KEY CONTROL SELECT RETURN

コマンド”KEY CONTROL SELECT [3D]”に対する返信コマンドです。

キーコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command BD

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Key Control Off	
0	1	Key Control On	

Request/Preset KEY CONTROL SELECT [3D]

REMOTE/LOCAL SELECT RETURN

コマンド”REMOTE/LOCAL SELECT [4C]”に対する返信コマンドです。

本体パネルでのキー操作の有効または無効を返信します。

Command CC

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	RS-232C、PARALLEL、NETWORK、REMOTE 端子に接続されたリモコン、及び USB キーボードによるリモート操作のみ有効。本体パネルでのキー操作は無効。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作が有効。

Request/Preset REMOTE/LOCAL SELECT [4C]

PLAY MODE RETURN

コマンド”PLAY MODE SENSE [4E]”に対する返信コマンドです。

現在の再生モードを返信します。

Command CE

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Continue	プレイエリア全曲の再生モード
0	1	Single	シングル再生モード
0	4	Program (Data Empty)	プログラム再生モード(プログラムされたトラックがない状態)
0	5	Program	プログラム再生モード
0	6	Random	ランダム再生モード

Request/Preset PLAY MODE SENSE [4E]

MECHA STATUS RETURN

コマンド”MECHA STATUS SENSE [50]”に対する返信コマンドです。

現在のメカの動作状態を返信します。

Command D0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	No Media	メディアが挿入されていない
0	1	Eject	メディア排出中／認識出来るメディアが存在しない
1	0	Stop	停止状態
1	1	Play	再生中
1	2	Pause On	再生待機状態
2	8	Cue	早送り中
2	9	Review	早戻し中
8	0	Monitor	インプット・モニター状態(メディアは挿入されていない)
8	1	Record	録音中
8	2	Record Pause	録音待機状態
8	3	Information Writing	各種情報の書き込み中
F	F	Other	その他の状態

Request/Preset MECHA STATUS SENSE [50]

SPECIFIED DEVICE STATUS RETURN

コマンド” SPECIFIED DEVICE STATUS SENSE [51]”に対する返信コマンドです。

指定されたメディアの動作状態を返信します。

Command D1

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	DEVICE	00:SD1
Data 2		01:SD2 10:USB 11:CD
Data 3	STATUS	“MECHA STATUS RETURN” - Data 1 と同じ
Data 4		“MECHA STATUS RETURN” - Data 2 と同じ

Request/Preset SPECIFIED DEVICE STATUS SENSE [51]

TRACK No. RETURN

コマンド”TRACK No. SENSE [55]”に対する返信コマンドです。

現在、位置しているトラック番号および EOM 表示中であるか否かを返信します。

グループ・モードがオンのときはグループ番号を返信します。

Command D5

Machine ID 0

Data 6 bytes

	内容	備考
Data 1	EOM Status	00:EOM 表示範囲外
Data 2		01:EOM 表示中
Data 3	十の桁	0000 停止してトラックの頭出し等を行っていない状態 0001 - 0999 トラック番号
Data 4	一の桁	
Data 5	千の桁	
Data 6	百の桁	

Request/Preset TRACK No. SENSE [55]

MEDIA STATUS RETURN

コマンド”MEDIA STATUS SENSE [56]”に対する返信コマンドです。
メディアの有無やメディアの種類を返信します。

Command D6
Machine ID 0
Data 4 bytes

Data 1	Media Status	00:Media なし
Data 2		01:Media あり
Data 3	Media Type	00:CD-DA 01:CD-R (Audio) 02:CD-RW (Audio)
Data 4		10:CD-Data (Data CD) 11:CD-R (Data) 12:CD-RW (Data)

Request/Preset MEDIA STATUS SENSE [56]

CURRENT TRACK INFORMATION RETURN

コマンド”CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]”に対する返信コマンドです。
プレイ・モードがプログラム・モードの時はプログラム番号を返信します。それ以外のプレイ・モードの時はトラック番号を返信します。

Command D7
Machine ID 0
Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	トラック番号の十の桁	
Data 2	トラック番号の一の桁	
Data 3	トラック番号の千の桁	
Data 4	トラック番号の百の桁	
Data 5	分の十の桁	
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の百の桁	
Data 8	分の千の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

Request/Preset CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN

コマンド”TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]”に対する返信コマンドです。

総トラック数および選択再生範囲の総時間を返信します。

Command DD
Machine ID 0
Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	総トラック数の十の桁	Data 1 - Data 4 が 0000 の場合は、Media が Blank Media であるか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 2	総トラック数の一の桁	
Data 3	総トラック数の千の桁	
Data 4	総トラック数の百の桁	
Data 5	分の十の桁	
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の千の桁	
Data 8	分の百の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

Request/Preset TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]

PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN

コマンド”PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5E]”に対する返信コマンドです。

プログラム再生モードでの総トラック数およびメディア総時間を返信します。

Command DE
Machine ID 0
Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	総トラック数の十の桁	Data 1 - Data 4 が 0000 の場合は、プログラムが組み立てられていないことを示します。
Data 2	総トラック数の一の桁	
Data 3	総トラック数の千の桁	
Data 4	総トラック数の百の桁	
Data 5	分の十の桁	
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の千の桁	
Data 8	分の百の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

Request/Preset PGM TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5E]

KEYBOARD TYPE RETURN

コマンド”KEYBOARD TYPE SENSE[5F]”に対する返信コマンドです。

USB キーボードの種類を返信します。

Command DF

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Japanese Keyboard	日本語キーボード接続時の設定です
0	1	US Keyboard	英語キーボード接続時の設定です

Request/Preset KEYBOARD TYPE SENSE [5F]

ERROR SENSE REQUEST

被制御機器がエラー状態の時に送出します。

被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド”ERROR SENSE [78]”を送出してエラーの内容を確認してください。

Command F0

Machine ID 0

Data なし

Request/Preset なし

CAUTION SENSE REQUEST

被制御機器が警告状態の時に送出します。

被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド”CAUTION SENSE [79]”を送出して警告の内容を確認してください。

Command F1

Machine ID 0

Data なし

Request/Preset なし

ILLEGAL STATUS

被制御機器に無効なコマンドまたはデータが送出された場合に本コマンドを返信します。

被制御機器から本コマンドが返信された場合、制御機器は仕様にあったコマンドまたはデータを送信し直してください。

Command F2

Machine ID 0

Data なし

Request/Preset なし

POWER ON STATUS

被制御機器の電源がオンになったことを通知するコマンドです。

Command F4

Machine ID 0

Data なし

Request/Preset なし

POWER CONTROL RETURN

コマンド”POWER CONTROL[75]”に対する返信コマンドです。

Command F5

Machine ID 0

Data なし

Request/Preset なし

CHANGED STATUS

被制御機器の動作やモードが変化したことを通知するコマンドです。

Command F6
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Changed Mechanical Status	メカ状態が変化した
0	3	Changed Track/EOM Status	トラック番号が変わった。EOM の表示/非表示状態が変わった

Request/Preset なし

ERROR SENSE RETURN

コマンド"ERROR SENSE [78]"に対する返信コマンドです。

エラー・コードを返信します。

Command F8
Machine ID 0
Data 4 bytes

Data 1	N2	エラー・コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Error (エラーなし)
Data 3	0	1-01	Rec Error (録音に関するエラー)
Data 4	N1	1-02	Device Error (デバイスに関するエラー)
		1-08	Stand-By Error (録音準備中のエラー)
		1-09	Information Write Error (録音終了処理中のエラー)
		1-FF	Other Error (上記以外のエラー。本体を確認ください)

Request/Preset ERROR SENSE [78]

CAUTION SENSE RETURN

コマンド"CAUTION SENSE [79]"に対する返信コマンドです。

警告コードを返信します。

Command F9
Machine ID 0
Data 4 bytes

Data 1	N2	警告コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Caution (警告無し)
Data 3	0	1-02	Media Error (メディアに関するエラー)
Data 4	N1	1-03	Can't Undo (UNDO が出来ない)
		1-06	Media Full (メディアの残容量が無い)
		1-07	Track Full (トラックの容量上限に達した)
		1-09	D-In Unlock (デジタル入力が UNLOCK)
		1-0A	No Call Point (Call ポイントが無い)
		1-0B	Can't REC (録音できない状態)
		1-0C	Write Protected (メディアが書き込み禁止)
		1-0D	Not Execute (機能実行できない状態)
		1-0F	Can't Edit (編集が出来ない状態)
		1-13	Can't Select (選択できない状態)
		1-14	Track Protected (トラックが保護されている)
		1-16	Name Full (名前設定の文字数制限が上限に達した)
		1-18	Play List Error (プレイリスト関連のエラー)
		1-1D	Not Audio (デジタル入力がオーディオではない)
		1-1E	Decode Error (再生に関するエラー)
		1-1F	Media Not Match (メディアが適合しない)
		1-FF	Other Caution (上記以外の警告。本体をご確認ください)

Request/Preset なし

VENDER COMMAND RETURN

COMMAND [7F]に対する返信コマンドです。次の「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

Command	FF
Machine ID	0

ベンダコマンド詳細

ベンダコマンドは、以下の様なフォーマットで構成されています。

RS-232C 端子

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	Byte 8	Byte 9	...	Byte n
LF	ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 5	...	CR
LF	'0'	'7F' or 'FF'	Category Code		Sub Command		Parameter		...	CR

ETHERNET 端子(TELNET)

Byte 1	2	3	4	5	6	7	8	...	n-1	n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 5	...	LF	CR
'0'	'7F' or 'FF'	Category Code		Sub Command		Parameter		...	LF	CR

Category Code: ベンダコマンドを機能別に区分するためのカテゴリコード(2バイトの ASCII)

Sub Command: カテゴリ内でユニークなサブコマンドコード(2バイトの ASCII)

DEVICE SELECT (01), DIVIDE(02), DELETE (03) は、Sub Command はありません。

DEVICE SELECT (01) は、Data 3 以降が Parameter となります。

Parameter: コマンドコードに付加するパラメータ (ASCII, 長さはサブコマンド毎に異なる)

Category Code の一覧は次のとおりです。

Data 1	Data 2	カテゴリ区分	説明
0	1	DEVICE SELECT	使用するデバイスを選択します
0	2	DIVIDE	トラックを分割します
0	3	DELETE	トラックを削除します
0	7	再生	再生に関する設定
0	8	録音	録音に関する設定
1	2	入出力	入出力に関する設定
4	2	ファイル	ファイル単位での編集
4	A	フォルダー	フォルダーに関する操作/編集

Return VENDOR COMMAND RETURN [FF]

DEVICE SELECT

被接続機器のデバイスの切り替えを行います。

Command 7F

Category Code 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SD1	SD1 をカレントデバイスにします。
0	1	SD2	SD2 をカレントデバイスにします。
1	0	USB	USB をカレントデバイスにします。
1	1	CD	CD をカレントデバイスにします。 被接続機器が SS-R250N の場合、ILLEGAL[F2]を送出します。
F	F	Sense	現在の設定を返信するように要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return DEVICE SELECT RETURN [FF01] ([7F01FF]の時のみ)

DIVIDE

被接続機器が再生待機中のファイルをその位置で分割します。
停止状態では実行できません。Mp3 ファイルも実行できません。

PLAY AREA 設定が PLAYLIST の時は、実行できません。

PLAY MODE 設定が CONTINUE 時のみ実行できます。

Command 7F
Category Code 02
Machine ID 0
Parameter なし

DELETE

被接続機器が現在選択しているファイルを削除します。
停止状態でのみ実行可能です。

PLAY AREA 設定が PLAYLIST の時は、実行できません。

PLAY MODE 設定が CONTINUE 時のみ実行できます。

Command 7F
Category Code 03
Machine ID 0
Parameter なし

TIME SKIP PRESET

被制御機器の TIME SKIP の時間(単位:秒)を設定します。

Command 7F
Category Code 07
Sub Command 01
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定時間の十の桁	0000 TIME SKIP : OFF
Data 6	指定時間の一の桁	0001 - 0059 1 ~ 59 sec
Data 7	指定時間の千の桁	0060 - 0299 1 min
Data 8	指定時間の百の桁	0300 - 0599 5 min 0600 - 10 min

TIME SKIP SENSE

被制御機器の TIME SKIP の設定時間を返信するよう要求します。

Command 7F
Category Code 07
Sub Command 02
Machine ID 0
Return TIME SKIP RETURN [FF0702]

PLAY AREA SELECT

被制御機器のプレイエリア (再生対象)を設定します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 07
 Sub Command 4F
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	All	メディア内の全ファイルが再生対象です。
0	1	Folder	現在選択中のファイルが含まれているフォルダーが再生対象です。
0	2	Playlist	プレイリストに登録されているファイルが再生対象です。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PLAY AREA SELECT RETURN [FF07CF]

AUTO TRACK SIZE PRESET

被制御機器の Auto Track Size の設定を行います。

設定は、640MByte, 1GByte (1024MByte), 2GByte(2048Mbyte) です。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Auto Track Mode の設定はコマンド“AUTO TRACK SELECT [31]”で行います。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 23
 Machine ID 0
 Parameter 6 bytes または 2 bytes

Data 5/6	Data 7	Data 8	Data 9	Data10	内容	備考
00	4	0	0	6	640MB	ファイルサイズ (MByte)
	2	4	1	0	1GB	
	4	8	2	0	2GB	
FF					Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return AUTO TRACK SIZE RETURN [FF08A3]

USER WORD PRESET

被制御機器の USER WORD の設定を行います。

USER WORD 名は、Data 7 以降に最大 8byte(USER01/02/03)または最大 12byte(USER04/05)送信できます。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 2A
 Machine ID 0
 Parameter 3 bytes - 10bytes(USER01/02/03)、3 byte - 14 bytes(USER04/05)

Data5	Data6	内容	備考
1	0	USER01	設定する USER WORD 番号
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	
Data 7 - Data14		USER WORD 名(USER01/02/03)	英数字、記号(ASCII 文字コード[0x20 - 0x7E])
Data 7 - Data18		USER WORD 名(USER04/05)	

・Data7 以降に有効な名前が指定されない場合、被制御機器はILLEGAL[F2]を送出します。

Return USER WORD PRESET RETRUN [FF08AA]

USER WORD SENSE

被制御機器の USER WORD を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 5A
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data5	Data6	内容	備考
1	0	USER01	要求する USER WORD 番号
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	

Return USER WORD SENSE RETURN [FF08DA]

FILE NAME SELECT

被制御機器の録音ファイル名の形式の設定を行います。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 60
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data5	Data6	内容	備考
0	0	DATE/TIME	Date & Time
1	0	USER01	USER01-USER05
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return FILE NAME SELECT RETURN [FF08E0]

CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME SENSE

被制御機器のカレントメディアの録音可能時間を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 10
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Return CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME RETURN [FF1090]

MEDIA FORMAT

被制御機器のカレントデバイスをフォーマットします。

Command 7F
 Category Code 10
 Sub Command 44
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Quick Format	
0	1	Full Format	

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE [FF10C4]

INPUT SELECT

被制御機器の INPUT SELECT を設定します。

Data5/6 (Channel 設定) は、00 (固定値) を指定します。

Data7 と Data 8 に Sense [FF] を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

DIGITAL XLR, DIGITAL COAXIAL を選択すると LINK PLAY 再生モード設定は OFF になります。

ANALOG BALANCED への切り替えは、接続している機器へ対する本機からのファントム電源供給状態が誤っていないか配慮した上で行ってください。

Command 7F
 Category Code 12
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Parameter 6 bytes

Data 5/6	Data 7/8	Data 9/10	内容	備考
00	00	00	ANALOG BALANCED	ANALOG MIC/LINE IN (BALANCED) L/R 端子から入力
		01	ANALOG UNBALANCED	ANALOG IN (UNBALANCED) L/R 端子から入力
	01	00	DIGITAL XLR	AES/EBU IN 端子から入力
		01	DIGITAL COAXIAL	SPDIF IN 端子から入力
	02	00	IF-DA2(DANTE) (IF-DA2 装着時のみ選択可)	Dante インターフェースカード 「IFDA2」から入力
	FF		Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

・仕様範囲外 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return INPUT SELECT RETURN [FF1290]

FILE RENAME

被制御機器のカレントデバイス内の指定ファイルの名前を変更します。

変更ファイル名は、Data 9 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

被制御機は実行開始時と終了時に”FILE RENAME ACKNOWLEDGE [FF4280]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 00
 Machine ID 0
 Parameter 5 - 121 bytes

	内容	備考
Data 5	指定ファイル番号の十の桁	指定ファイル番号 例) 1400:ファイル 14
Data 6	指定ファイル番号の一の桁	
Data 7	指定ファイル番号の千の桁	
Data 8	指定ファイル番号の百の桁	
Data 9 - Data 125	変更ファイル名	UTF-8

・仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2] を送出します。

Return FILE RENAME ACKNOWLEDGE [FF4280]

CURRENT FOLDER SELECT

被制御機器のカレントデバイス内の指定フォルダーをカレントフォルダーに設定します。
対象は、ルートフォルダー直下に存在するフォルダーのみです。

Command 7F
Category Code 4A
Sub Command 23
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定フォルダー番号の十の桁	指定フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	指定フォルダー番号の一の桁	
Data 7	指定フォルダー番号の千の桁	
Data 8	指定フォルダー番号の百の桁	

- ・ ルートフォルダー直下に存在しないフォルダーのフォルダー番号が指定された場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。
- ・ カレントフォルダーをフォルダー番号に指定した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

Return なし

CREATE FOLDER

被制御機器に対して、カレントデバイス内のルートフォルダー直下に指定した名前の新規フォルダーを作成します。フォルダー名は、Data 5 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

実行開始時と終了時に”CREATE FOLDER ACKNOWLEDGE [FF4AC0]”を返信します。

Command 7F
Category Code 4A
Sub Command 40
Machine ID 0
Parameter 1 - 117 byte

	内容	備考
Data 5 - Data 121	フォルダー名	UTF-8

- ・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2] を送出します。

Return CREATE FOLDER ACKNOWLEDGE [FF4AC0]

RENAME FOLDER

被制御機器のカレントデバイス内の指定フォルダーの名前を変更します。

変更フォルダー名は、Data 9 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

対象は、ルートフォルダー直下に存在するフォルダーのみです。

実行開始時と終了時に”RENAME FOLDER ACKNOWLEDGE [FF4AC2]”を返信します。

Command 7F
Category Code 4A
Sub Command 42
Machine ID 0
Parameter 5 - 121 bytes

	内容	備考
Data 5	指定フォルダー番号の十の桁	指定フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	指定フォルダー番号の一の桁	
Data 7	指定フォルダー番号の千の桁	
Data 8	指定フォルダー番号の百の桁	
Data 9 - Data 125	変更フォルダー名	UTF-8

- ・ ルートフォルダー直下に存在しないフォルダーのフォルダー番号が指定された場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。
- ・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2] を送出します。

Return RENAME FOLDER ACKNOWLEDGE [FF4AC2]

CURRENT FOLDER No. SENSE

被制御機器のカレントデバイスのカレントフォルダー番号を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 55
 Machine ID 0

Return CURRENT FOLDER No. RETURN [FF4AD5]

SEARCH FOLDER No.

被制御機器のカレントデバイス内のルートフォルダー直下に対して、設定した名前のフォルダーを検索してフォルダー番号を返信するよう要求します。

フォルダー名は、Data 5 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 56
 Machine ID 0
 Parameter 1 - 117 byte

	内容	備考
Data 5 - Data 121	フォルダー名	UTF-8

- 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return SEARCH FOLDER No. RETURN [FF4AD6]

FOLDER NAME SENSE

被制御機器のカレントデバイス内の指定フォルダーの名前を返信するよう要求します。

対象は、ルートフォルダー直下に存在するフォルダーのみです。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 59
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定フォルダー番号の十の桁	指定フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	指定フォルダー番号の一の桁	
Data 7	指定フォルダー番号の千の桁	
Data 8	指定フォルダー番号の百の桁	

- ルートフォルダー直下に存在しないフォルダーのフォルダー番号が指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return FOLDER NAME RETURN [FF4AD9]

FILE NAME SENSE

被制御機器のカレントデバイス内の指定ファイルの名前を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 5A
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定ファイル番号の十の桁	指定ファイル番号 例) 1200:ファイル 12
Data 6	指定ファイル番号の一の桁	
Data 7	指定ファイル番号の千の桁	
Data 8	指定ファイル番号の百の桁	

- 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return FILE NAME RETURN [FF4ADA]

FOLDER COUNT SENSE

被制御機器のカレントデバイスのルートフォルダー内の開始フォルダー番号、終了フォルダー番号、フォルダー数を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 5D
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return FOLDER COUNT RETURN [FF4ADD]

FILE COUNT SENSE

被制御機器のカレントデバイスの指定したフォルダー内の開始ファイル番号、終了ファイル番号、ファイル数を返信するよう要求します。

対象は、ルートフォルダー(フォルダー0) および ルートフォルダー直下に存在するフォルダーのみです。

Command 7F
 Category Code 4A
 Sub Command 5E
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定フォルダー番号の十の桁	指定フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	指定フォルダー番号の一の桁	
Data 7	指定フォルダー番号の千の桁	
Data 8	指定フォルダー番号の百の桁	

- ・ ルートフォルダー直下に存在しないフォルダーのフォルダー番号が指定された場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。
- ・ 仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return FILE COUNT RETURN [FF4ADE]

DEVICE SELECT RETURN

コマンド”DEVICE SELECT [7F01FF]”に対する返信コマンドです。

カレントデバイスを返信します。

Command FF
 Category Code 01
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SD 1	SD 1
0	1	SD 2	SD 2
1	0	USB	USB
1	1	CD	CD

Request/Presets DEVICE SELECT [7F01FF]

TIME SKIP RETURN

コマンド”TIME SKIP SENSE [7F0702]”に対する返信コマンドです。
設定されている TIME SKIP の時間(単位:秒)を返信します。

Command FF
Category Code 07
Sub Command 02
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考	
Data 5	設定時間の十の桁	0000	TIME SKIP : OFF
Data 6	設定時間の一の桁	0001 - 0059	1 ~ 59 sec
Data 7	設定時間の千の桁	0060	1 min
Data 8	設定時間の百の桁	0300	5 min
		0600	10 min

Request/Preset TIME SKIP SENSE [7F0702]

PLAY AREA SELECT RETURN

コマンド”PLAY AREA SELECT [7F074F]”に対する返信コマンドです。
現在のプレイエリア(再生対象)を返信します。

Command FF
Category Code 07
Sub Command CF
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	All	メディア内の全ファイルが再生対象です。
0	1	Folder	現在選択中のファイルが含まれているフォルダーが再生対象です。
0	2	Playlist	プレイリストに登録されているファイルが再生対象です。

Request/Preset PLAY AREA SELECT [7F074F]

AUTO TRACK SIZE RETURN

コマンド”AUTO TRACK SIZE PRESET [7F0823]”に対する返信コマンドです。

設定されているオートトラック・サイズを返信します。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command A3
 Machine ID 0
 Parameter 6 bytes

Data 5/6	Data 7	Data 8	Data 9	Data10	内容	備考
00	4	0	0	6	640MB	ファイルサイズ(MByte)
	2	4	1	0	1GB	
	4	8	2	0	2GB	

Request/Preset AUTO TRACK SIZE PRESET [7F0823]

USER WORD PRESET RETURN

コマンド”USER WORD PRESET[7F082A]”に対する返信コマンドです。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command AA
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data5	Data6	内容	備考
1	0	USER01	要求する USER WORD 番号
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	

Request/Preset USER WORD PRESET [7F082A]

USER WORD SENSE RETURN

コマンド”USER WORD SENSE[7F085A]”に対する返信コマンドです。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command DA
 Machine ID 0
 Parameter 3 bytes - 10 bytes (USER01/02/03)、3 bytes - 14 bytes (USER04/05)

Data5	Data6	内容	備考
1	0	USER01	要求する USER WORD 番号
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	
Data 7 - Data14		USER WORD 名(USER01/02/03)	英数字、記号(ASCII 文字コード[0x20 - 0x7E])
Data 7 - Data18		USER WORD 名(USER04/05)	

Request/Preset USER WORD SENSE [7F085A]

FILE NAME SELECT RETURN

コマンド”FILE NAME SELECT[7F0860]”に対する返信コマンドです。
録音ファイル名の形式の設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command E0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data5	Data6	内容	備考
0	0	DATE/TIME	Date & Time
1	0	USER01	USER01-USER05
1	1	USER02	
1	2	USER03	
1	3	USER04	
1	4	USER05	

Request/Preset FILE NAME SELECT [7F0860]

CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME RETURN

コマンド”CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME SENSE [7F1010]”に対する返信コマンドです。
カレントメディアの録音可能時間を返信します。

Command FF
Category Code 10
Sub Command 90
Machine ID 0
Data 8 bytes

	内容	備考
Data 5	分の十の桁	例 34125678 = 1234 分 56 秒 78
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の千の桁	
Data 8	分の百の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

Request/Preset CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME SENSE [7F1010]

- ・メディアが挿入されていない場合、0000 分 00 秒 00 を返信します。
- ・返信する時間が 100 時間(6000 分)以上になる場合、5999 分 59 秒 99 を返信します。
- ・停止状態から録音待機状態へ、録音状態から停止状態へなど状態遷移中は“-----”を返信します。

MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE

コマンド”MEDIA FORMAT [7F1044]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 10
Sub Command C4
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	フォーマット開始
1	1	End (OK)	フォーマット正常終了
1	2	End (NG)	実行出来なかった、失敗

Request/Preset MEDIA FORMAT [7F1044]

INPUT SELECT RETURN

コマンド”INPUT SELECT [7F1210]”に対する返信コマンドです。
設定されている INPUT SELECT 設定を返信します。

Command FF
Category Code 12
Sub Command 90
Machine ID 0
Parameter 6 bytes

Data 5/6	Data 7/8	Data 9/10	内容	備考
00	00	00	ANALOG BALANCED	ANALOG MIC/LINE IN (BALANCED) L/R 端子から入力
		01	ANALOG UNBALANCED	ANALOG IN (UNBALANCED) L/R 端子 から入力
	01	00	DIGITAL XLR	AES/EBU IN 端子から入力
		01	DIGITAL COAXIAL	SPDIF IN 端子から入力
	02	00	IF-DA2(DANTE) (IF-DA2 装着時のみ)	Dante インターフェースカード 「IFDA2」 から入力

Request/Preset INPUT SELECT [7F1210]

FILE RENAME ACKNOWLEDGE

コマンド”FILE RENAME [7F4200]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command 80
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset FILE RENAME [7F4200]

CREATE FOLDER ACKNOWLEDGE

コマンド”CREATE FOLDER [7F4A40]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。正常終了時は、作成されたフォルダーのフォルダー番号も合わせて返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command C0
 Machine ID 0
 Parameter 6 bytes または 2 bytes

	内容	備考
Data 5	1	End (OK) 実行正常終了
Data 6	1	
Data 7	フォルダー番号の十の桁	フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 8	フォルダー番号の一の桁	
Data 9	フォルダー番号の千の桁	
Data 10	フォルダー番号の百の桁	

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset CREATE FOLDER [7F4A40]

RENAME FOLDER ACKNOWLEDGE

コマンド”RENAME FOLDER [7F4A42]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command C2
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset RENAME FOLDER [7F4A42]

CURRENT FOLDER No. RETURN

コマンド”CURRENT FOLDER No. SENSE [7F4A55]”に対する返信コマンドです。

現在のカレントフォルダー番号を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command D5
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	カレントフォルダー番号の十の桁	カレントフォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	カレントフォルダー番号の一の桁	
Data 7	カレントフォルダー番号の千の桁	
Data 8	カレントフォルダー番号の百の桁	

Request/Preset CURRENT FOLDER No. SENSE [7F4A55]

SEARCH FOLDER No. RETURN

コマンド”SEARCH FOLDER No. [7F4A56]”に対する返信コマンドです。

検索したフォルダー番号を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command D6
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	フォルダー番号の十の桁	フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	フォルダー番号の一の桁	
Data 7	フォルダー番号の千の桁	
Data 8	フォルダー番号の百の桁	

Request/Preset SEARCH FOLDER No. [7F4A56]

FOLDER NAME RETURN

コマンド”FOLDER NAME SENSE [7F4A59]”に対する返信コマンドです。

対象フォルダーの名前を返信します。

Data 9 以降に UTF-8 でフォルダー名を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command D9
 Machine ID 0
 Parameter 5 bytes～124 bytes

	内容	備考
Data 5	対象フォルダー番号の十の桁	対象フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 6	対象フォルダー番号の一の桁	
Data 7	対象フォルダー番号の千の桁	
Data 8	対象フォルダー番号の百の桁	
Data 9 - Data 128	フォルダー名	UTF-8

Request/Preset FOLDER NAME SENSE [7F4A59]

FILE NAME RETURN

コマンド”FILE NAME SENSE [7F4A5A]”に対する返信コマンドです。

対象ファイルの名前を返信します。

Data 9 以降に UTF-8 でファイル名を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command DA
 Machine ID 0
 Parameter 5 bytes～124 bytes

	内容	備考
Data 5	対象ファイル番号の十の桁	対象ファイル番号 例) 1200:ファイル 12
Data 6	対象ファイル番号の一の桁	
Data 7	対象ファイル番号の千の桁	
Data 8	対象ファイル番号の百の桁	
Data 9 - Data 128	ファイル名	UTF-8

Request/Preset FILE NAME SENSE [7F4A5A]

FOLDER COUNT RETURN

コマンド”FOLDER COUNT SENSE [7F4A5D]”に対する返信コマンドです。

カレントデバイスのルートフォルダー内の開始フォルダー番号、終了フォルダー番号、フォルダー数を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command DD
 Machine ID 0
 Parameter 12 bytes

	内容	備考
Data 5	開始フォルダー番号の十の桁	開始フォルダー番号 例) 0100:フォルダー1
Data 6	開始フォルダー番号の一の桁	
Data 7	開始フォルダー番号の千の桁	
Data 8	開始フォルダー番号の百の桁	終了フォルダー番号 例) 2400:フォルダー24
Data 9	終了フォルダー番号の十の桁	
Data 10	終了フォルダー番号の一の桁	
Data 11	終了フォルダー番号の千の桁	フォルダー数 例) 2400:フォルダー数 24
Data 12	終了フォルダー番号の百の桁	
Data 13	フォルダー数の十の桁	
Data 14	フォルダー数の一の桁	
Data 15	フォルダー数の千の桁	
Data 16	フォルダー数の百の桁	

Request/Preset FOLDER COUNT SENSE [7F4A5D]

FILE COUNT RETURN

コマンド”FILE COUNT SENSE [7F4A5E]”に対する返信コマンドです。

対象フォルダー番号、開始ファイル番号、終了ファイル番号、ファイル数を返信します。

Command FF
 Category Code 4A
 Sub Command DE
 Machine ID 0
 Parameter 16 bytes

	内容	備考
Data 5	対象フォルダー番号の十の桁	対象フォルダー番号 例) 0200:フォルダー2
Data 6	対象フォルダー番号の一の桁	
Data 7	対象フォルダー番号の千の桁	
Data 8	対象フォルダー番号の百の桁	開始ファイル番号 例) 0800:ファイル 8
Data 9	開始ファイル番号の十の桁	
Data 10	開始ファイル番号の一の桁	
Data 11	開始ファイル番号の千の桁	終了ファイル番号 例) 1600:ファイル 16
Data 12	開始ファイル番号の百の桁	
Data 13	終了ファイル番号の十の桁	
Data 14	終了ファイル番号の一の桁	
Data 15	終了ファイル番号の千の桁	ファイル数 例) 0900:ファイル数 9
Data 16	終了ファイル番号の百の桁	
Data 17	ファイル数の十の桁	
Data 18	ファイル数の一の桁	
Data 19	ファイル数の千の桁	
Data 20	ファイル数の百の桁	

Request/Preset FILE COUNT SENSE [7F4A5E]

DATE	DOC Ver.	CONTENTS
2017/02/28	1.00	初版発行
2017/07/31	1.10	AUTO TRACK TIME PRESET, AUTO TRACK TIME RETURN を追加 NAME RETURN に拡張子の説明を追記 以下のベンダコマンドを追加 PLAY AREA SELECT, PLAY AREA SELECT RETURN, INPUT SELECT, INPUT SELECT RETURN, FILE RENAME, FILE RENAME RETURN, CURRENT FOLDER No. SENSE, CURRENT FOLDER No. RETURN, CURRENT FOLDER SELECT, CREATE FOLDER, CREATE FOLDER ACK, RENAME FOLDER, RENAME FOLDER ACK, SEARCH FOLDER No., SEARCH FOLDER No. RETURN, FOLDER COUNT SENSE, FOLDER COUNT RETURN, FOLDER NAME SENSE, FOLDER NAME RETURN, FILE COUNT SENSE, FILE COUNT RETURN, FILE NAME SENSE, FILE NAME RETURN
2017/10/13	1.11	POWER CONTROL、STANDBY STATUS を追加 以下のベンダコマンドを追加 TIME SKIP PRESET, TIME SKIP SENSE, TIME SKIP RETURN
2018/04/20	1.12	RECORD コマンドに説明を追加
2018/08/24	1.12	CURRENT TRACK TIME RETURN に 6000 分を超えた場合の説明を追加
2019/11/29	1.13	READY と記載していた箇所を PAUSE に変更 誤字訂正
2020/3/16	1.13	以下のベンダコマンドを追加 USER WORD PRESET, USER WORD SENSE, USER WORD PRESET RETURN, USER WORD SENSE RETURN, FILE NAME SELECT, FILE NAME SELECT RETURN
2020/5/26	1.14	以下のベンダコマンドに新規パラメータ USER04、USER05(最大 12Byte)を追加。 USER WORD PRESET, USER WORD SENSE, USER WORD PRESET RETURN, USER WORD SENSE RETURN, FILE NAME SELECT, FILE NAME SELECT RETURN
2020/6/24	1.14	DEVICE SELECT RETURN の説明を追加 以下のコマンドを追加。 SPECIFIED DEVICE STATUS SENSE, SPECIFIED DEVICE STATUS RETURN 以下のベンダコマンドを追加 MEDIA FORMAT, MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE STANDBY STATUS を POWER CONTROL RETURN に名称を変更
2021/11/18	1.15	以下のベンダコマンドを追加 CURRENT MEDIA REORDABLE TIME SENSE, CURRENT MEDIA RECORDABLE TIME RETURN